

I . 事業評価総括表(令和4年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道維持補修事業（町道箕角長田線舗装修繕工事）	安芸太田町	9,420,400	9,420,400	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道維持補修事業（町道細見畑ヶ谷線舗装修繕工事）	安芸太田町	17,828,800	17,828,800	

Ⅱ. 事業評価個表(令和4年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道維持補修事業（町道箕角長田線舗装修繕工事）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安芸太田町		
交付金事業実施場所	広島県山県郡安芸太田町大字上殿			
交付金事業の概要	「第2次安芸太田町長期総合計画」において、日常生活や産業活動を支える道路網をつくることを主要施策項目に掲げており、個別施策の展開として安全な道路づくりと管理を行うことにしています。町道箕角長田線は、町道上殿線（交通量が比較的多い住民の生活道として重要な町道）に接続しているため、町道上殿線が災害等で通行止めとなった場合の迂回路となることなど、住民の安心・安全に直結する路線です。現在舗装状態が悪いため、地域住民の転倒等による事故を未然に防ぐ必要があります。町道箕角長田線全線1,792mの内、特に緊急性の高い346mの舗装工事及び区画線設置を施工します。 ・舗装工 L=346m A=1,723㎡ ・区画線 実線 617m 破線 35m			
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第2次安芸太田町長期総合計画（平成27年度～令和6年度） 第4節【社会基盤・防災・防犯】 第1項 快適な社会基盤が整うまちをつくります 1 日常生活や産業活動を支える道路網をつくります 第2次安芸太田町長期総合計画後期計画（令和2年度～令和6年度） 第4節【社会基盤・防災・防犯】 施策13 快適で安全な道路網をつくります 個別施策033 安全な道路網の整備・個別施策034 安全な道路網の維持・管理 本町の長期総合計画に位置づけている安全な道路網の整備により、年間を通じて安心して通行できる生活密着道路を良好に維持するとともに、本事業が電源立地地域対策交付金により行われていることを安芸太田町ホームページで広報し、地域住民の電源開発への理解・協力及び発電用施設等の設置及び運転の円滑化に資することを目標とします。			
事業開始年度	令和4年度		事業終了（予定）年度 令和4年度	
事業期間の設定理由				
	成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和5年度
	管理瑕疵による事故発生件数 0件	管理瑕疵による事故発生件数	成果実績	0件
			目標値	0件
			達成度	100%

交付金事業の成果目標 及び成果実績	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後早期に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、道路の舗装工事346mが施工できました。次年度に向けて、日常的なパトロール等による点検を定期的に実施し、管理瑕疵による事故発生件数0件を確認しました。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	年度	年度
	舗装工事の延長	活動実績	m	346		
		活動見込	m	346		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和4年度	年度		年度	備考	
総事業費	9,420,400					
交付金充当額	9,420,400					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	9,420,400					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	町道舗装工事	一般競争入札	株式会社上殿建設(安芸太田町)	9,420,400		
交付金事業の担当課室	建設課					
交付金事業の評価課室	総務課					

Ⅱ. 事業評価個表(令和4年度)

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道維持補修事業（町道細見畑ヶ谷線舗装修繕工事）
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安芸太田町
交付金事業実施場所	広島県山県郡安芸太田町大字平見谷	
交付金事業の概要	「第2次安芸太田町長期総合計画」において、日常生活や産業活動を支える道路網をつくることを主要施策項目に掲げており、個別施策の展開として安全な道路づくりと管理を行うことにしています。この路線は北広島町芸北細見と北広島町豊平をつなぐ広域農道の一部となっており、地域の物流及び人の輸送に多大な貢献をしている路線です。平成29年2月発生の災害により国道186号が通行止めになった際にも迂回路として機能しました。今後も国道186号や国道433号が災害等で通行止めとなった場合に迂回路となりうる重要な路線です。交通量が多いため路面の劣化も早く、舗装が剥がれ路面に段差が発生すると事故の危険が高まります。このようなことから、町道細見畑ヶ谷線全線1,310mの内、特に緊急性の高い425mの舗装工事及び区画線設置を施工します。 ・舗装工 L=425m A=3,490㎡ ・区画線 実線 15cm：910m 20cm：410m 45cm：53m 区画線 破線 15cm：9m 45cm：2m	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第2次安芸太田町長期総合計画（平成27年度～令和6年度） 第4節【社会基盤・防災・防犯】 第1項 快適な社会基盤が整うまちをつくります 1 日常生活や産業活動を支える道路網をつくります 第2次安芸太田町長期総合計画後期計画（令和2年度～令和6年度） 第4節【社会基盤・防災・防犯】 施策13 快適で安全な道路網をつくります 個別施策033 安全な道路網の整備・個別施策034 安全な道路網の維持・管理 本町の長期総合計画に位置づけている安全な道路網の整備により、年間を通じて安心して通行できる生活密着道路を良好に維持するとともに、本事業が電源立地地域対策交付金により行われていることを安芸太田町ホームページで広報し、地域住民の電源開発への理解・協力及び発電用施設等の設置及び運転の円滑化に資することを目標とします。	
事業開始年度	令和4年度	事業終了（予定）年度 令和4年度

事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位		評価年度		令和5年度
	管理瑕疵による事故発生件数 0 件	管理瑕疵による事故発生件数	成果実績	件	0件		
			目標値	件	0件		
			達成度	%	100%		
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	本交付金の活用により、道路の舗装工事425mが施工できました。次年度に向けて、日常的なパトロール等による点検を定期的を実施し、管理瑕疵による事故発生件数0件を確認しました。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	年度	年度	
	舗装工事の延長	活動実績	m	425			
		活動見込	m	425			
		達成度	%	100			
交付金事業の総事業費等		令和4年度	年度	年度	備考		
総事業費		17, 828, 800					
交付金充当額		17, 828, 800					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		17, 828, 800					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
町道舗装工事		一般競争入札		株式会社植地組(安芸太田町)		17, 828, 800	
交付金事業の担当課室	建設課						
交付金事業の評価課室	総務課						